

## 予算特別委員会を設置し集中審査

# 平成21年度

# 予算を可決

一般会計予算2、104億9、377万円

大田区議会は、平成21年第1回定例会を2月20日から3月25日までの34日間の会期で開きました。

本会議第1日には区長の施政方針演説と教育委員会委員長の教育行政に関する所信表明がありました。(5面に要旨を掲載)

第2日及び第3日にかけて、5名の議員が会派を代表して質問を行いました。続いて13名の議員が一般質問を行いました。(2面～5面に要旨を掲載)

この定例会には、区長提出議案56件、報告4件が提出され、議員提出議案として条例案3件、条例の一部改正案1件が提出されました。

このうち、平成21年度予算案については、予算特別委員会を設置し、実質8日間にわたり集中審査を行いました。

すべての質疑が終了した後、一般会計予算の編成替えを求める動議が提出されましたが、賛成者少数で否決されました。

その後、平成21年度一般会計及び各特別会計は賛成者多数で決定しました。(6面に予算に対する各会派の意見を掲載)

本会議最終日には、一般会計予算の編成替えを求める動議が提出されましたが、各会派の討論を経て否決されました。

その結果、平成21年度予算をはじめ、定額給付金事業を含む平成20年度一般会計補正予算(第6次)などの区長提出議案については、審議の結果すべて原案とおり可決しました。

また、議員提出議案のうち、条例の一部改正案は、全会一致で可決となり、条例案3件は賛成者少数で否決となりました。(7面に定例会で決まった議案を掲載) 請願・陳情は、関係委員会へ審査した結果、採択3件、不採択10件となり、そのほかは継続審査となりました。(8面に請願・陳情の結果を掲載)

### 第1回定例会の内容

2月	20日	本会議(第1日)
	24日	議会運営委員会
	26日	本会議(第2日)
	27日	本会議(第3日)
3月	2日	常任委員会
	3日	常任委員会
	4日	議会運営委員会
	5日	特別委員会
	9日	本会議(第4日)
	10日	委員会
	11日	
	12日	
	13日	
	16日	予算特別委員会
	17日	
	18日	
	19日	
	23日	本会議(第5日)
	25日	

### 第2回定例会の予定

6月	5日	本会議(第1日)
	8日	本会議(第2日)
	9日	常任委員会
	10日	常任委員会
	11日	議会運営委員会
	12日	特別委員会
	16日	本会議(第3日)

○請願・陳情の締め切りは、5月29日(金)の予定です。

### 主な内容

1面	定例会の概要
2～5面	区政をさく(代表・一般質問)
5面	区長施政方針演説 教育委員会委員長所信表明
6面	予算に対する各会派の意見
7面	定例会で決まった議案
8面	請願・陳情の結果、その他

第21回いきいき大田写真コンクール応募作品 小林千代子さんの「花盛り」池上一丁目31番付近



# 区政をきく

## 代表質問

### 仕事量の拡大で安心安全のまちづくりを

大田区議会公明党 富田 俊一

#### 大田区10か年基本計画

不況脱出のシナリオをまずアジアに求めるべき。

今般の経済危機からの脱出は、アジア地域との連携なしには考えられない。

21年度組織改正で、区長室を大きく拡充した狙いは。

トップマネジメントを行うための情報集約・課題整理の機能強化と的確な区民ニーズ把握である。

#### 平成21年度予算

一般会計は20年度と比較し、82億円の減である。

5年ぶりのマイナス予算に對する見解を伺う。

各基金積立を最小限度に抑え、介護サービス関連事業利用料金移行等により、事業費ベースの予算の比較では前年度比78億円増となる。緊急経済対策と基本計画事業を着実に実行する。

#### 区民税等の大幅な減収を

産業育成について

プレミアム付区内商品券は、商店街活性化のため第2弾も検討すべき。

今回発行する商品券の経済的効果を見極めて、今後の消費拡大策、商業振興策を検討する。

定額給付金が区内で活用される雰囲気づくりを、区商連等と連携し進めるべき。

どの様に想定しているか。区税への影響は22年度以降であり、特別区交付金は、企業収益悪化の影響を受け減収が見込まれる。予算執行は、誤りのない迅速かつ的確な対策を準備すべき。必要ならば、思い切って補正予算を組むことも考えてはいかかがか。

20年度にも増して区内経済状況を注視し、時機に合わせ適切な財政運営を行う。

羽田空港について

本格的な国際化を目前にし、羽田旭町周辺の開発も動き出した今、早急にまちづくりの方針を確定すべき。

協議会を立上げた羽田旭町地区のほかにも、蒲田、大森、空港跡地や臨海部について方針をまとめ「国際都市おおた」に相応しい魅力あるまちづくりに取り組む。

プレミアム付区内商品券のPR方法等区商連と緊密な連携をとって進めている。

発注開拓員や、研究開発のマッチングコーディネーターを約2倍に増員したが、その成果は4倍5倍になるよう取り組むべき。

新規発注開拓に取り組むほか、関東圏だけでも2500校ある大学の理工系学部や研究室へのアプローチを増やし取引拡大に努める。

ものづくり集積再構築事業」が都の承認を受けたことによる今後の施策やまちづくりについて伺う。

企業立地、新製品・新技術開発、新規開業支援を実施し、都から3年間で1億5千万円の補助を受ける。

地域活力を生み、企業集積のあるまちづくりを目指す。

産科医院の確保

医師会との提携による土地提供など思い切った対策が必要ではないか。

医療機関等とも相談しながら施策を構築し、周産期医療の充実に努める。

福祉サービスの充実

特別養護老人ホームは絶対数が不足。整備状況は。

60床以上の整備を目標設定し、20年度は施設整備費補助を大幅に増額した。21年度は、民間事業者意向調査を実施し、設置実現に向け積極的に努める。

ひとり暮らし高齢者の「見守り」に関する考え、方向性を聞く。

支えあいの仕組みは各々に合わせた地域ごとのきめ細やかな対応が必要。適切な支援のあり方を検討する。

障害者総合サポートセンター(仮称)の設置計画の取組みについて伺う。

地域自立支援協議会等と連携を図り課題を整理しながら具体的な機能を検討する。

マンション居住者支援

分譲マンション維持管理支援がPR不足。居住者向け相談会を充実強化すべき。

居住者での対応が基本と考えているがバックアップとしてセミナーを開催した。21年度は相談会を計画中。

包括外部監査

監査の結果報告に様々な視点から問題提起されている。今後の改革の方向性は。

多様な民間の力を活用し区民サービス向上を図る。各部署で委託事業の費用対効果の検証を行うなど、経営感覚をもった効率的で効果的な区政を推進する。

### 福祉向上は政治が担うものWALK!!明日に向かって

大田区議会自民党 河津 章夫

#### 経済危機と大田区政

21年度の特別区交付金は6%程度の減額が予想されるが、区政への影響は。

区立小中学生は、とうとう、野辺山、伊豆高原の校外施設で、都会では経験できない移動教室を体験している。今後のあり方の基本方針を踏まえ、総合的に検討する。

#### 伊豆高原荘について

建物も古く利用者も激減している伊豆高原荘は廃止し「親なきあとの施設」として活用してはいかかがか。

自然公園法により民間の活用が困難であることなどから、保養所施設としては見直しを行い施設は廃止する。廃止後の施設活用方法は今後の検討課題とする。

#### 羽田空港跡地問題

都知事は20年の都議会において「都が跡地を一括取得する必然はない」と答弁している。昭和56年の確認書を反故にしてはならない。最終的手段として都に對する訴訟が可能と考えるが。

区として、基本的には同じ考え方に基づき、より良い相談体制の実現を考えている。具体的あり方については、広く関係団体等の意見を聞き、地域課題を整理して検討する。

#### 野辺山学園について

老朽化が進み維持費のかかる学園は廃止し、子どもたちの健全育成のための手段を他に考えるべき。

将来的に移設も含め今後のあり方を検討する。

学園としての利用を伊豆高原学園にシフトしては。

入居全体に占める交付金の割合は30・1%であり、予算全体に大きな影響がある。現在の予想以上に企業収益悪化となれば、更なる減額も想定される。

#### 総合サポートセンター

設置にあたり、区民が安心して利用できる仕組みと相互理解が可能な相談窓口のために、現在の区体制を改善すべきではないか。

双方の意思が円滑に伝わる相談体制と接遇能力の向上は、非常に重要な課題である。今後、より良い相談体制について検討を重ねる。

制度に精通しているケアマネージメントを行い、専門性に加え人間性もある専門家センターに配置するよう知的障害者育成会が要望している。区構想との相違点は。

区として、基本的には同じ考え方に基づき、より良い相談体制の実現を考えている。具体的あり方については、広く関係団体等の意見を聞き、地域課題を整理して検討する。

野辺山学園について

老朽化が進み維持費のかかる学園は廃止し、子どもたちの健全育成のための手段を他に考えるべき。

が広げられないか。

庁内各部署から多くの業務を抽出し態勢を整える。臨時職員という性質上、採用条件も含め難しい面もあるが、引き続き努力する。

住民の要望に応じて必要な政策に定額給付金の財源を自治体が使ったことこそ、地方分権の本質では。

地方分権の推進という趣旨は理解している。定額給付金は厳しい経済環境の中、住民への生活支援と地域経済対策を目的とし給付する。

#### 特別養護老人ホーム

5年間に480床を増設したにも関わらず、待機者が1、363名という数え区はどうとらえているのか。

待機期間の短縮と待機者数の減少が重要な課題であると認識しており、引き続き施設の設置を推進する。

区内で求めやすい100床以下の小規模特養を設置計画しては。

高齢者には住み慣れた地域で暮らすことを、議会として設けることは、議会として見識を示されるものと考ええる。

#### 産業経済について

最近策定した産業振興基本戦略(素案)は、現在の経済危機を反映していると言いつく、現状に即した加筆が必要では。区長の認識を伺う。

現在の経済情勢を勘案した上で区内企業の振興策の方向性を検討しており、大



多摩川

ご覧下さい

### 本会議インターネット中継

本会議の録画映像を区議会のホームページでご覧いただけます。また、本会議を録画したビデオテープの視聴も受け付けていますので、ご利用ください。

大田区議会ホームページアドレス  
<http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

### 透明性を高め一段と身近な区政実現を

自由民主党大田区議団 高瀬 三徳

政治倫理について

議員を含む特別職の政治倫理基準を定め、地位や権限を利用した利益を図る行為を禁止を明確化させるべきではないか。「政治倫理条例」を制定してはいかかがか。

政治倫理に関しては、地方自治法をはじめとする各法令の規定に基づいて判断しており、現時点で別途の規定を設ける予定はない。しかし、議会自らが規定を

産業経済について

最近策定した産業振興基本戦略(素案)は、現在の経済危機を反映していると言いつく、現状に即した加筆が必要では。区長の認識を伺う。

現在の経済情勢を勘案した上で区内企業の振興策の方向性を検討しており、大



第13回おおた工業フェア